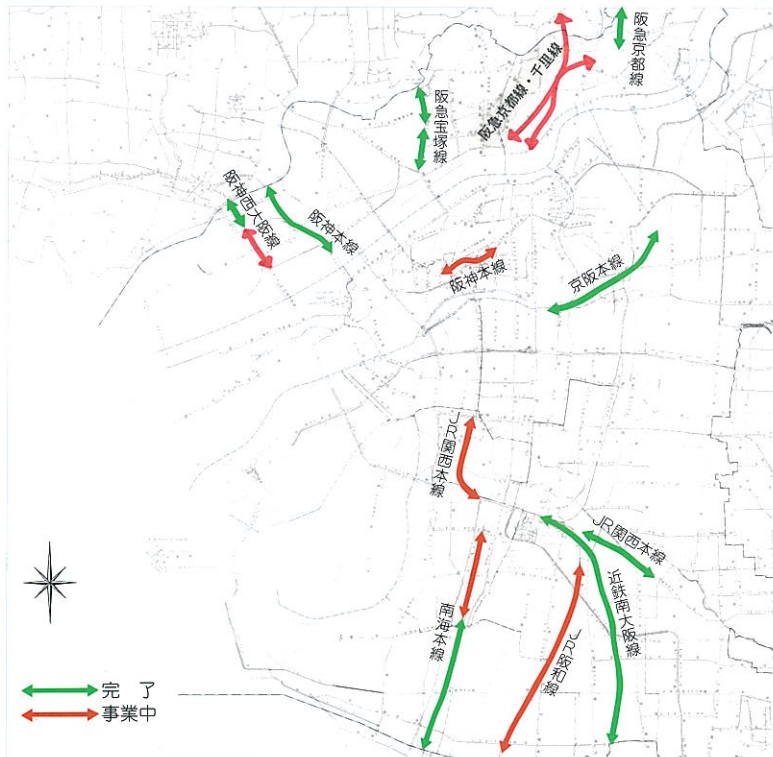


## 大阪市内の主な立体交差事業箇所



事業についてのお問い合わせは

大阪市建設局街路部立体交差課 ☎(06)208-9481

阪神電気鉄道株式会社 福島工事事務所 ☎(06)453-2536

— 都市計画事業 —

## 加島天下茶屋線外1路線と阪神本線との立体交差事業

(阪神本線地下化)



- 交通渋滞が解消される
- 踏切でのイライラがなくなる
- 踏切事故がなくなる
- 地域のつながりが強まる

大 阪 市  
阪神電気鉄道株式会社

## 事業のあらまし

大阪市内における車輛交通は、ますます激しさの度を加え、主要道路と鉄道との平面交差による交通渋滞は、まことに憂慮すべき現況にあります。

阪神本線は、大阪市内6.6kmのうち4.7kmで現在すでに高架化が完了しており、残り1.9kmのうち1.3kmは平面軌道(0.6kmは梅田地下駅)となっています。この区間内には6カ所の踏切があり、特に加島天下茶屋線(なにわ筋)と交差する浄正橋筋踏切は、市内でも有数の交通混雑箇所となっています。

そこで大阪市では、昭和58年度から阪神電鉄と共同で、阪神本線の野田駅から梅田駅間の地下化による立体交差を進めており、これが完成すると、市内の阪神本線はすべて立体化され、現在の6カ所の踏切はなくなり、交通渋滞の解消・踏切事故の防止はもとより、沿線地域の発展と交通安全に大きく寄与するものと期待されます。

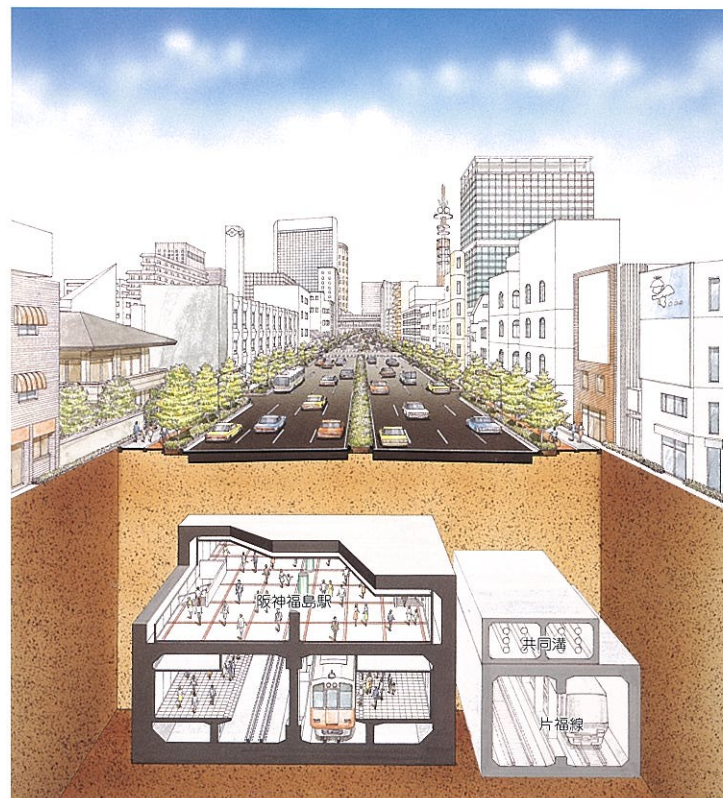
新しい線路はJR環状線と交差する付近から地下へもぐり、国道2号(都市計画道路桜島守口線)の下を通って、梅田駅につながる計画となっています。このため、新しい福島駅は現在の位置から約100メートル南側の道路の下へ移ることになります。

この事業は、建設省所管の国庫補助事業として実施しており、その財源はガソリン税・自動車重量税などです。

工事中、皆様方には何かとご迷惑・ご不便をおかけすることもあると思いますが、安全で快適な町づくりのため、本工事が早期に完成するよう格別のご理解とご協力をお願いいたします。

## 事業の概要

■ 事業名	加島天下茶屋線外1路線と阪神本線との立体交差事業
■ 都市計画決定区間	阪神電気鉄道本線(野田駅～梅田駅) 延長約2,060m
■ 工事施行延長	約1,660m 〔 既設盛土区間 60m 擁壁区間 140m トンネル区間 1,460m〕
■ 踏切除却数	6カ所
■ 総事業費	約491億円
■ 交差幹線道路	加島天下茶屋線(なにわ筋)、中津西本町線(あみだ池筋)
■ 駅施設	福島駅(地下) 延長 160m
■ 完成予定	平成6年度(目標)



福島駅完成予想図